

意見交換会の感想と今後の取組みに向けて

◇協議会アドバイザー 元京都大学特定教授 土井勉先生

- ・まちづくりは、100%自分のことだけを考えれば矛盾が生じます。少し自分のことを遠慮して地域が良くなる事を考えることが大切です。
- ・「城崎ルール」では、お客様とのやり取りの中でも「城崎はこんなルールがありますよ」と言えるためワンクッション置けることとなります。良いまちを作るための道具として活用できます。
- ・桃島バイパスが完成するまでにはまだ時間がかかります。その間、今の交通問題を放っておけるものではありません。今できることを地域の皆さんで取り組む必要があります。
- ・桃島バイパスを見据えた交通改善計画では、交通量のデータをもとに計画を考えていくことで望ましい方向についての議論ができます。
- ・JRで城崎温泉駅に到着した際、車内放送でも「そぞろ歩きを愉しんでください」と案内がありました。「そぞろ歩き」という言葉は協議会の中で作り上げてきたもので、それが定着してきました。
- ・協議会の人達は地域のためにやっています。地域主体の取組みであり、皆さんの積極的な参加によって、素晴らしい城崎のまちができると思います。

◇協議会オブザーバー 兵庫県豊岡土木事務所

- ・城崎大橋は2022年（令和4年）の完成を目指して、工事を進めています。
- ・兵庫県では、城崎大橋の完成から切れ間ない「桃島バイパスの着手」を目指しています。しかし、桃島バイパスを作るだけでは、城崎の温泉街の混雑は解消しません。
- ・バイパスをどう活用し、城崎温泉をどのようなまちにしたいのか、地域の皆さんで城崎温泉街の未来を描いて頂きたい。
- ・あわせて、今からできる取組み（城崎ルール）を考え、まちの皆さんと取組んで頂きたい。

安心・安全な「そぞろ歩き」の実現に向けた、交通環境改善計画を策定するためには地域の皆様のご協力が必要です。力を合わせて、共に頑張りましょう！

駐停車を抑制した社会実験の結果

- ・歩行者の増加とともに車両は停滞し、歩行者が多くなるほど停滞時間は長くなる。
- ・対面交通時に駐停車や歩行者が存在すると、交通停滞が発生する。



城崎そぞろ歩きニュース 2020年3月

～安心・安全にそぞろ歩きができるまちづくり～

発行：城崎温泉交通環境改善協議会 会長：西村総一郎、検討部会長：富田健太郎

事務局・お問い合わせ先：豊岡市都市整備部建設課（安居、山崎）Tel. 0796-21-9007

城崎温泉街の安全な「そぞろ歩き」の実現を目指して 「交通環境改善策の意見交換会」を開催しました

2020年1月17日、城崎庁舎大会議室にて地域住民や事業者約60人が参加し、湯の里通りでの駐停車を抑制した交通社会実験の結果報告を行いました。

実験結果から考えられる温泉街での交通ルールづくりや、桃島バイパスの整備を見据えた交通環境の改善策について話し合いました。

主な意見

【城崎ルール（歩行空間を改善するための交通ルール）】

- ・交通量ピーク時間（14～18時）の駐停車を避けることは可能。
- ・15時までの時間帯の駐停車規制は困るが、安全、安心を最優先に考えているので協力したい。
- ・地域の理解が得られる「城崎ルール」であれば協力したい。

【桃島バイパス整備を見据えた交通環境改善計画の方向性】

- ・安全な「そぞろ歩き」を実現するために一方通行を取り入れることが有効であるが、一方通行の賛否について参加者の挙手で確認を行った。

《「賛成」=15人、「反対」=2人、「どちらとも言えない」=11人》

- ・送迎バスを運行している旅館との調整もあるが、パークアンドライドには賛成。
- ・一方通行にせよパークアンドライドにせよ、細かな課題がある。地域住民や関係者は、自分の問題として一つ一つ解決に向けて取り組んでいく必要がある。

今後の方針

- ・2020年度中に、「城崎ルール」を含めた「交通環境改善計画」を策定します。
- ・地域の皆様のご意見と、ご協力をいただきながら、取組みを進めていきます。



城崎ルール（歩行空間を改善するための交通ルール） 【短期的取組み】

城崎ルール	意見
・ 駐停車を控える 時間の設定	《配送・卸業》 <ul style="list-style-type: none"> 午前中に配達を済ませ、交通量ピーク時間（14～18時）の駐停車を避けることは可能。 遠方からの配送に時間がかかるため、15時までの時間帯に駐停車を規制されると困るが、安心安全を最優先に考えているので協力したい。 《郵便局》 <ul style="list-style-type: none"> 業務に支障は無い。地域の理解が得られるものであれば協力したい。
・ 市営駐車場の利活用	《旅館業》 <ul style="list-style-type: none"> チェックアウトしたお客さんが土産物屋の前などで、20～30分、路上駐車をすることがある。運転手のマナーの問題だが、駐車場案内の努力次第で改善できる。
・ 路線バス運行時間の適正化	《バス事業者》 <ul style="list-style-type: none"> 時間帯ごとの利用率を考慮したダイヤ編成は、他路線との調整により対応は可能。 高齢者など、交通弱者への配慮をお願いしたい。
・ 大型車の小型化	《配送・卸業》 <ul style="list-style-type: none"> 小型車で配送は業務に遅れが生じるため実施は困難。 《バス事業者》 <ul style="list-style-type: none"> ピーク時の乗車人数に合わせたバスを使用しているのが現状だが、今後、検討したい。
・ 荷捌きスペース、 駐車場の確保	《配送・卸業》 <ul style="list-style-type: none"> 駐車場から荷物を小運搬するのは時間がかかり、コストが高くなる。 雨天時に困る。 カートなどに積み替えて運搬する場合、荷捌き用の拠点が必要になる。

その他の意見
<ul style="list-style-type: none"> 岐阜県白川郷では、連休中などで許可車両以外通行止めをしている。他の観光地の取組みを参考にしているかどうか。 道路交通法に違反して駐停車する運転手が多い。違反車両が無くなるだけでも街の雰囲気は変わると思う。 誰のため、何のための取組みなのかを、皆さん考えてほしい。 個人の意見を主張するのではなく、地域のことを考え、覚悟を持って取り組んでいかなければならない。



安心・安全な「そぞろ歩き」の実現

交通環境改善計画
(2020年度策定)
城崎ルール

桃島バイパス整備を見据えた交通環境改善計画の方向性 【中期的取組み】

桃島バイパス整備を見据えた交通環境改善計画の方向性	意見
・ 温泉街の主要な路線での一方通行	《配送・卸業》 <ul style="list-style-type: none"> 安全面を考慮すれば、一方通行にしていただけなら有難い。 《バス事業者》 <ul style="list-style-type: none"> 一方通行になれば、車の流れが循環型になるため、運行時間の見直しが必要。
(一方通行の賛否について挙手で確認)	「賛成」 → 15人 「反対」 → 2人 「どちらとも言えない」 → 11人
・ 駐車場と送迎システムの整備 (パークアンドライド)	《協議会》 <ul style="list-style-type: none"> 駐車場についてはバイパス側（桃島）に整備することも考えられる。流動的に検討していく必要がある。 パークアンドライドによって旅館の駐車場が空けば、工業系の車両の駐車場に活用できるのではないか。 《旅館業》 <ul style="list-style-type: none"> パークアンドライドは賛成。 送迎バスを運行している旅館もあり、調整が必要。 すべてのお客さんに対し、パークアンドライドにすることも考えられる。 《町内会》 <ul style="list-style-type: none"> パークアンドライドは採算が合わないと成立しない。 荷捌き駐車場は誰が管理するのか。細かな問題を一つ一つ解決しなければならない。

その他の意見
<ul style="list-style-type: none"> 土地利用について、今後、小学校、中学校の生徒数が減少していくことも考えていく必要がある。 地域住民や関係者は、自分の問題として取り組んでいく必要がある。

